

現在の活動内容(森敏一)

(1)個人の近況

約60年振りのUターン後、受講がきっかけで近郊の若者たちと交流することが出来、定年後の時間を介護・趣味・地域貢献(あいら未来会議という地域活性化団体)など有意義に生活させて頂いています。

(2)団体の生い立ち

平成30年2月に講座終了後3月に同窓生を中心に声掛けし、「対話と挑戦の協働文化」「行動したい人と応援したい人のマッチング」「みらいに繋げる子どもを元気に、健康に、見守り」「全世代が活気ある地域づくり」「自己啓発で、自分を発見する、成長させてくれる場」を目的に任意団体「あいら未来会議」を発足することが出来ました。現在では同窓生以外でも主旨に賛同してもらえる参加希望者も加わり、77数名の登録者がいます。

(3)活動動向項目としては

① 対話の集い・・・講座終了の平成30年3月の第1回設立会議から、毎月第4木曜日19:00開始を定例会として継続しこの2024年9月で79回を迎えます。仕事の悩みややりたい事のプレゼンを聞いたり、イベント情報交換など・・対話を継続しています。また諸先輩を講師に迎え研修会等も適時しています。

② Fukufukuプロジェクト・・・対話の中から「お母さん達が困っている――私がやりたい」の声、小さな子供のいるお母さんの服の悩みを少しでも解消できればと始めた交換会・・季節の変わり目を意識して年3回計画し、この2024年11月2-3日に第21回を開催します。連絡網が158家族を超えて、リピートで回っています。近年マルシェ化(カフェ・小物・お菓子の店など)しています。教育委員会のイベントに今年も12月に参加要請を受け参加します。

③ 子ども食堂・・・対話の名から、朝ごはんを食べてない子供がいる・・がきっかけで始めました。コロナ禍でお弁当にした時期もありましたが、月1回の定例化して継続しています。始めたい方へノウハウや会場づくりも団体で支援して、現在14か所に拡大でき、それぞれが運営している。冷凍冷蔵コンテナの提供の支援も受け、常温から冷凍品まで食材・成果物の仕分け基地としても活動している。

④ DIY工事部・・・2年前に近くの空き家を借り改修イベントを始めたら、大工の真似事作業やDIYでのモノづくりの作業が子どもや若者との交流にとっても有効なことを実感し、プロジェクトにしました。これも月1回の定例活動日を設定し、イベントを企画し「小屋をつくろう」「床を張ろう」「親子で椅子をつくろう」「ツリーハウスを作ろう」など・・・出来栄えではない、自分でPDCAの回せる企画力や行動力・チームワークなどを育んでもらう企画にしている。この空き家の敷地内に子ども食堂用の冷凍冷蔵コンテナや仕分け場を設置しています。

(4)これから

令和4年1月に下部組織として、NPOあいら未来会議プラスを立ち上げました。始良市の委託事業もSDGzプロジェクトとして受け活動しています。法人として信用度を上げることができ、2月に鹿児島県始良伊佐地域振興局長より「地域づくり活動」で表彰を受けました。これまでの友軍団体の支援やご指導があって現在の活動ができていると考えており感謝に堪えません。

私達は主旨を大切に、若者とシニアの良きバランスの取れたグループとして「出来る人が出来る時にできる事を」をモットーに、焦らずゆるい集まりを基本に据え、ゆっくりと対話の場・地域づくりを進めていきます。

賛同される方、興味本位の方・・一度定例会においでください。より理解していただけたと思います。